

アセットマネジメント部門

秋田モデルで最強スクラム！

～下水道がつなぐ県と市町村の未来～

秋田県

持続可能な事業運営により「ふるさと秋田」の元気を創造

ふるさと秋田元気創造プラン

県と市町村の「機能合体」により人口減少を克服

秋田県生活排水処理構想

地域の特性を活かした処理施設の集約・再編

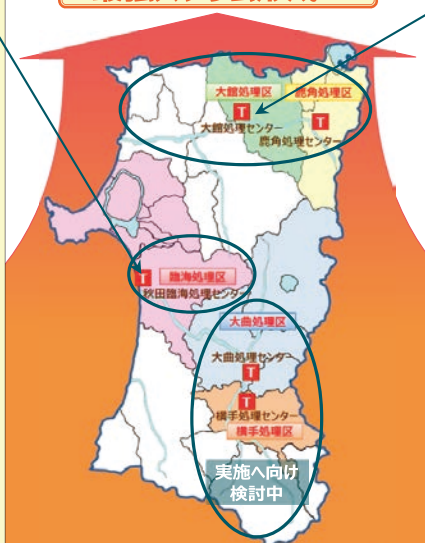
下水処理場の統合

県秋田臨海処理センターを機能増強し
秋田市八橋処理区を接続



水処理能力を増強
(超高効率固液分離装置)

最強スクラム形成へ



広域化・共同化の加速

県と全市町村による法定協議会を設立

地域の汚泥を集約処理

県北地区3市3町1組合の
生活排水処理汚泥を集約・資源化
(秋田県県北地区広域汚泥資源化事業)



【資源化物】
汚染土壌浄化
の補助材料や
燃料等へ活用

施設の統廃合

農業集落排水やし尿処理場等の
地域バイオマスを下水道へ接続

業務の効率化

企業会計移行事務の共同発注

PRポイント！

「県と市町村の機能合体」に向け、県下自治体が一体となり生活排水処理事業運営の課題解決に取り組みました。本県では、流域下水道を核に協議会を活用して、広域化・共同化の取組を推進しています。

取組の効果！

処理区統合に伴う終末処理場の機能増強やD B O方式による広域汚泥資源化施設の整備等で効率的な事業運営や汚泥利活用を拡大しました。
引き続き広域化・共同化の取組を推進していくほか、集約や老朽化に伴うリスクを低減するため、ストックマネジメントに基づく管理を徹底します。

Key Person



秋田県知事
佐竹敬久

秋田県では、日本一の人口減少県という危機に立ち向い、行政サービスを将来も安定的に提供していくため、「県と市町村の機能合体」に取り組んでいます。

下水道等の公共インフラを今後も持続し続けるためには、市町村単位ではなく、県と市町村が協働し、一体となって課題に取り組むことが大切であるとの考えのもと、生活排水処理事業の機能合体である「秋田モデル」を推進しました。

住民が今後も最適なサービスを楽しむことができるよう、これからも県内市町村との連携を進め、更なる広域化・共同化の推進や下水道資源の利活用など、時代の変化に対応した持続可能な事業運営に資する取組を展開してまいります。